

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～



～デントコーンの生育を見る那須悠太さん～
(紹介は10ページ)

2021.10
No.
574

祝

米寿

／花束と記念品を贈呈／

皆が遊びに来てくれるのが嬉しいです。これからも家の周りの仕事をしながら過ごして行きたいです。

片岡 智恵子さん

健康の秘訣は毎朝起きてすぐにトイレに行く事!毎日お嫁さんが作ってくれる美味しいご飯が楽しみです。

梅田 テル子さん

野菜を作ったり町内をドライブするのが楽しみです。老人クラブでふまねっと運動を頑張っています。

岡崎 俊光さん

病気しないのが一番の家族孝行だと思っています。今はひ孫の成長を見届けるのが何よりの幸せです。

中島 正道さん

毎朝犬と猫とお散歩しているのが元気の秘訣!これからも野菜と花の手入れを続けて行きたいです。

江田 フクエさん

開拓時代の感謝の気持ちと米寿(88歳)を迎えた長寿のお祝いが9月15日に各家庭で行われ、当JAの川上和則組合長から皆さんに「おめでとうございます。これからもお元気でお過ごし下さい」の声掛けとともに花束と記念品が贈られました。本町農業の発展に貢献され、現在の経営基盤を確立して頂いた事に心より敬意を表します。これからもお元気でお過ご下さい。

米寿を迎えた皆さん、まだご家族の皆さんおめでとうございます。

※米寿を迎えた皆さんのが生まれた昭和8年は、江崎グリコの看板商品ビスコが発売、またイギリスのネス湖でネッシーの報道がされたほか、日産自動車の前身である自動車製造株式会社が設立、明仁上皇(平成時代の天皇陛下)さまも同じく米寿を迎えられました。

農作業Photos



デントコーン収穫



山浦靖人さん圃場(土佐)



大広康己さん圃場(土佐)

馬鈴薯収穫



森澤博人さん圃場(富丘)



山本将大さん圃場(岐阜)

南瓜収穫



堀田雅仁さん圃場(富丘)



伊藤崇宏さん圃場(福山)

収穫の秋に感謝して

～常呂町内で祭事開催～



●福山神社にて参拝を行う地域の皆さん



●JAところ事務所前で参拝を行う役職員一同

9月1日、共立地区、豊川地区、富丘地区、福山地区、日吉地区の計5地区で祭事が開催されました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、お祭りができなかつたため、各地区的組合員や住民が集まり神事のみとなりました。



●日吉神社にて参拝を行う地域の皆さん



●(上)出荷協議会に出席する組合員の皆さん
(右)開会のあいさつを述べる内藤組合長

議案の内容についてはカルビーポテト株伊在井良憲所長より、説明がなされました。今年度の加工馬鈴薯の作付け面積は約30.5haで今年度も良い出来秋となるよう体調管理に十分注意し作業を行つことを確認し終了しました。

常呂町加工馬鈴薯生産組合（内藤靖彦組合長）は8月18日、JA会議室で出荷協議会を開き、組合員40人が出席しました。



●(上)出荷協議会に出席する組合員の皆さん
(右)開会のあいさつを述べる植松組合長

議案第1号から第5号までの慎重審議の結果、全議案とも原案通り承認され、確認事項及び報告事項も議案の通り報告しました。

常呂町種馬鈴薯生産組合（植松孝雄組合長）は8月27日、JA会議室で出荷協議会を開催し、組合員5人が出席しました。



●(上)議案審議をする組合員の皆さん
(右)開会の挨拶を述べる土田組合長

議案第1号から第5号までのすべての議案が原案通り承認されました。冒頭で土田組合長より「昨年は気候と組合員の努力により豊作で良品質な原料を供給することができた。今年度もより一層良品質な南瓜を出荷していただきたい」と述べました。

常呂町南瓜生産組合（土田竜也組合長）は8月25日、JA会議室で出荷協議会を開き、組合員7人が出席しました。

安定した収量を目指して

～常呂町加工馬鈴薯生産組合出荷協議会～

優良種子の出荷を目指して

～常呂町種馬鈴薯生産組合出荷協議会～

高品質な南瓜出荷を目指して

～常呂町南瓜生産組合出荷協議会～

川原 大和さん (受入:林 健志さん)

実家の野菜とは違う初めての作業や大変な作業もすべてが新鮮で、身体が疲れた時ほど達成感が大きくとても良い研修をすることができました。

今回の研修で学んだことを活かしてこれから頑張りたいと思います。



●受入農家の林健志さん一家と拓殖短大生の川原さん(右から2番目)

常呂町農業担い手受入協議会(林健志会長)は、拓殖大学北海道短期大学2年生2名、北海道大学3年生1名を農業実習生として8月中旬から1ヶ月間受け入れました。

農業実習では、各受け入れ農家での畑作・酪農農業実習生との交流会を開催しました。今回、常呂町農業を体験した実習生は、親元での就農や獣医師を目指しております。将来の活躍が期待されます。

現地実習を通して農業への見識深める

～常呂町担い手受入協議会～

松原 晃治郎さん (受入:株羽石農場)

農業の知識や技術のほか、これから何をしたらよいか、人とのつながりの大切さを学ぶことができました。

今回の研修で大きく成長できたと実感しています。この経験を将来の糧にしていきます。



●受入農家の羽石規晴さん一家と拓殖短大生の松原さん(中央)

中瀬 満さん (受入:梅田 俊則さん)

餌やりや搾乳などの作業を通じ大学の実習や誌面上でしか知らなかった酪農の様子や生活も知ることができました。

実習期間中には繁殖検診や手術の見学ができ、繁殖学や生理学などの知識が重要であることを認識でき、充実した実習を送ることができました。



●受入農家の梅田俊則さん一家と北大生の中瀬さん(左から2番目)



麦生産部会員からは「今回の講習会にて教わった技術を活かし、品質の向上及び収量増に繋げたい」との声がありました。



(上)講師を務めた普及センターの服部普及指導員
(下)講習会に参加した組合員の皆さん

小麦播種前講習会を開催

常呂町麦生産部会は9月6日、JA会議室にて「小麦播種前栽培講習会」を開き、部会員20人が出席しました。講師として網走農業改良普及センターの服部真弥普及指導員を招き、きたほなみとゆめちからの播種量及び播種適期についてのポイント説明、コムギ縞萎縮病や小麥なまぐさ黒穂病、雪腐病の対策、防除についてお話をいただきました。

麦生産部会員からは「今回の講習会にて教わった技術を活かし、品質の向

JJA北海道大会に向けた組織討議実施

～営農集団長会・青年部・女性部～

11月に開催される第30回JJA北海道大会に向けた組織討議を8月17日、24日、27日、各組織ごとに開催し、各営農集団長・青年部役員・女性部役員とJJA役職員が北海道農業や地域社会を取巻く情勢やJJAが抱える課題を確認しながらテーマに沿って意見交換を行いました。



● 営農集団長会(8月17日開催)



● 川上組合長の話に耳を傾ける
関根隆博営農集団長会会長

「コロナ禍で地域や組合員間のコミュニケーション不足を感じる」「コロナ禍で農畜産物の消費減退に拍車がかかって、系統・生産者が一体となり消費拡大に向けた取組が必要」という意見の他、「系統結集の意義を理解するため、あらためて協同組合を理解する研修を行う必要がある」「地域や担い手を維持するため、最先を見据えた対策を行って欲しい」など前向きな意見も出されました。

JJAでは今後も地区対話集会などを通じて組合員との対話活動を行ってまいります。



挨拶を述べる
川上和則組合長



● 青年部(8月24日開催)



● 女性部(8月27日開催)



● コネクトを確認する林靖士さん(左)

JJAグループ北海道は、毎年同日を「防災の日」、1日から6日までを防災期間に定め、期間中に防災対策の点検と再確認を呼びかけて、災害に強い農業作りへの機運を高めています。今年は点検日を記入する防災の日ステッカー

JJAといのちはの月6日、災害対策計画に基づき構築された安否確認連絡体制のテストで、JJAコネクトアプリの安否確認機能を活用して、スマートフォン所有の正組合員及び家族へ一斉送信を行いました。

災害時には組合員の状況をいち早くまとめて把握することが大事であり、JJAコネクトを活用することで必要な対策や支援の実施、減災に役立つことが期待できます。

コネクトを確認する林靖士さん(左)
りました。
災害時には組合員の状況をいち早くまとめて把握することが大事であり、JJAコネクトを活用することで必要な対策や支援の実施、減災に役立つことが期待できます。



● 回答状況を確認する田渕収一管理部長

北海道胆振東部地震から3年 ～安否確認アプリ導入～





あきひと 小原啓人監事の圃場で玉葱のタッピング作業を行う吉川紘平職員(右)



あきひかりの圃場で収穫した玉葱にシートをかける山口職員(右)

JJAといいのは、9月の田から8月までの3日間、新採用職員3人の農家実習をJJA役員宅で行いました。同実習は組合員とともに農作業のやりがいや苦労を体験し今後の業務に活かすことを目的としており、1回目の5月に続き、今回で2回目の実習となります。職員たちは玉葱の収穫作業などをを行い、実習を終えた販売課の山口友海職員は「やりがいがありとても楽しい。農家の体力は凄まじかった」と笑顔で振り返りました。



今橋正弘代表監事(中央)から「慣れてきたかい?」と声をかけられる山内胡春職員(左)

秋の農作業を学ぶ

新入職員が農家実習へ

デントコーン収量調査を実施

JJAといいは9月8日、「デントコーンの収量調査を行い、稈長や比重などを調査しました。同調査はJJAところと網走農業改良普及センター、北見市常呂総合支所の職員が協力し、2班体制で行われました。

今年度のデントコーンは今夏の大干ばつの影響もあり、稈長が例年より短い圃場が多く見られ、一部では半分以下の稈長となつている圃場も見られました。雌穂の数も少ない傾向にあり、調査に参加した當農推進室の山田瞬也職員は「乾物重が少なく、飼料確保が懸念されるが、品質は良好だった」と話しました。

採草地の共同草刈りを実施

—JJA川東牧場—

9月8日から、酪農家によるJJA川東牧場

採草地の共同草刈り作業が行われました。

当初、干ばつの影響が懸念されていましたが、8月中の雨により生育は順調に回復しました。

作業は数日間にわたり行われ、晴天の中複数のトラクターが並び作業する姿は共同ならではの壮大さでした。ロールにした後のトラックへの積み込みは、声を掛け合うなどスムーズに作業が進められていました。



共同で草刈りを行う酪農家ら



デントコーンの稈長を測る山田職員(中央)と普及センター職員

J A 共 濟 全 国・全 道 表 彰 受 賞



● 表彰を受けた藤林職員(左)と三浦職員(右)

JA共済連が優秀な実績を挙げたライフアドバイザーやスマイルサポーターに贈る令和2年度全国・全道優秀表彰で、当JA金融共済課の藤林信久職員と三浦憲職員が受賞しました。

今年も昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、表彰式とJA共済連北見支所長の訪問による表彰セレモニーが見送られることとなり、表彰状の送付のみとなりました。それに伴い、9月16日、JAところ1階応接室で表彰式を執り行い、川上和則組合長から受賞した2人の職員に表彰状が手渡されました。JAところは、今後も組合員・利用者の皆様方に寄り添った推進活動を展開して参ります。

第12回 JAところ 収穫“菜”のご案内

とき 10月23日(土) 11時30分～13時00分

ところ 北見市常呂町スポーツセンター前「百年広場」

主 催 JAところ

※新型コロナウイルスの感染状況によっては中止となる場合もございます。

※詳細につきましては、後日チラシやHPでお知らせいたしますのでご確認ください。

日本農業新聞電子版 11月より開始！

詳しい内容を知りたい方、購読の申込みをされる方はJAところ営農企画課までお問い合わせください！

みんなチェック！最低賃金。 北海道最低賃金改定

北海道内の事業場で働くすべての労働者（会社員・パート・アルバイト・学生など働くすべての人）及びその使用者に適用される北海道最低賃金が改定されます。

861円 → 889円

効力発生年月日 8令和3年10月1日



“家の光”

コロナで外出ができないので「家の光」をしっかり読んでいます。
知らなかつたことがいっぱいです

毎号興味のある特集が掲載され、読むほどに新発見があり楽しく学べます

家の光	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

第7回理事会報告 <8月20日開催>

- ◆美幌農工連 設備資金の借入に伴う連帯保証について
- ◆固定資産管理規程および経理規程の一部改正について
- ◆教育ローンキャンペーン実施に伴う貸付金利率の設定について
- ◆令和3年産共計澱粉の仮渡金について
- ◆令和3年度日甜美幌製糖所の受渡立会人の選任について
- ◆寄付金の支出について
- ◆7月末仮決算報告について
- ◆内部監査報告について
- ◆令和3年度上半期余裕金運用実績について
- ◆JA共済コンプライアンス点検結果について
- ◆令和2年産共計玉葱本精算について
- ◆8月10日の低気圧通過による浸水被害について
- ◆職員の退職について
- ◆子会社の登記完了について

行事予定表

10月1日(金)～10月31日(日)

10月22日(金) 第9回定期理事会

10月23日(土) 第12回JAところ収穫“菜”

10月24日(日) 農休日



まちがい探し

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探ししましょう。



応募方法

答えが解った方は、別紙の応募用紙に答えの番号と広報誌へのご意見・ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、防寒テムレス（新色オリーブグリーン）をプレゼントします。

先月の当選者・解答

9月号のクロスワードパズルの答えは「マ・ス・カ・ッ・ト」でした。抽選の結果、次の方が当選しました。

おめでとうございます。

片岡 慎さん（岐阜）※（ ）内は地区名です。

読者の声

★クロスワードが楽しかった。

(匿名希望)

★毎月楽しくクイズを解いています。

(富丘地区・今橋 丈さん)

しあわせのおすそわけ

今月は令和3年7月16日にご結婚された豊川地区の馬渕修さん・絵梨さんご夫婦を紹介します。

○SAMU × ERI



Mabuchi Family

「一緒に居て安心できるところが好き」

お二人の出会いは今から約6年前、共通の友人の紹介。当時の印象について修さんは「無口で朗らかな笑顔の人」絵梨さんは修さんを「声の大きな人」と振り返りました。

2回目のデート後に交際を始め、札幌市と常呂町での遠距離恋愛でしたが、お互い不安に感じることなく穏やかな交際だったそうです。「あまり会えないせいで、彼女の存在は都市伝説扱いだったんだよね」「存

在しています(笑)」と楽しそうに話してくれました。

農家へ嫁ぐことについて聞くと「不安はあったけど、周りの人達が優しい人ばかりで安心しました」と絵梨さん。また常呂町については「ホタテが美味しいとびっくり。あと海が綺麗でした」と江別出身の絵梨さんにはとても新鮮だったそうです。

絵梨さんのことを「癒しの存在」と笑顔で語る修さん。それを見て嬉しそうに笑う絵梨さん。とても仲良しなお二人に幸せをおすそ分けして頂きました♥



かみゆうべつチューリップ公園での1枚

馬渕さんご夫婦に質問

- どんな家庭を築きたいですか？
楽しくほのぼのとした家庭
- 休みの日の過ごし方・共通の趣味は？
買い物、DVD鑑賞
- これから抱負は？

修さん：今まで以上に頑張ります！

絵梨さん：ごはんのレパートリーを増やせるように頑張りたいです。

編集後記

- 肌寒い日が続くようになりましたね。早朝の寒さの中、布団にくるまるのは最高だと思いますか？寝坊してしまうんじゃないかと冷や冷やする中眠る今日この頃です。
- 今月23日にはJAところ収穫「菜」が行われます。常呂町の【美味しい】をお届けしますのでぜひ足を運びください。

《営農企画課：広報担当》

組織地域を担う若者たち

デントコーンの生育を見る那須悠太さん

今月の表紙は、岐阜地区的那須悠太さん（34）です。デントコーンの生育を見ているところを撮影させていただきました。撮影後に今後の抱負について聞くと、「就農して2年目となり、毎日やるべきことなどもわかるようになってきました。ミスを少しでも減らして、当たり前のことを行なっていきたい」と、真剣に話してくださいました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

